

令和4（2022）年6月

士別市長 渡 辺 英 次

「市長への手紙」の回答について

拝 啓

向暑の候 貴方におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申しあげますとともに、日頃より市政の推進に深いご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度「市長への手紙」で、文武両道のまちづくりに関する貴重なご意見をいただきました。

本市の「スポーツ合宿の里」については、市内関係団体で構成する合宿の里士別推進協議会との密接な連携のもと、長年の合宿受入の歴史があり、合宿環境の充実、イベントの開催、合宿者と市民との交流など、長年の積み重ねにより推進してまいりました。

一方、「俳句の里」のご提案については、「スポーツ合宿の里」の経緯も踏まえると、市外からの受入体制づくりをはじめ、市民の気運醸成などが必要であると想定されることから、まずは、市民のまちづくり活動への気運を高めるためにも、まちの個性の一つである「生涯学習のまち」を一層推進し、市民が心豊かで健やかに過ごすことのできるまちづくりを推進していく考えです。

次に、児童生徒が俳句を知る機会についてです。

児童生徒は、学校の国語の授業で俳句や短歌を学ぶほか、多寄地域では市民団体が発行する文集に、これらの作品が掲載され、作品に触れる機会を設けたこともあると伺っています。また、文芸という範囲に広げますと、文化祭での児童生徒作品展や文集しべつへの投稿などを通じて、保護者や地域の方々にも学習の成果を知っていただく機会が設けられているところです。

現在、教育委員会では、市民団体へ生涯学習情報誌「サークルメイト」の情報収集にあわせ、学校での授業に協力できる市民団体等を掲載する体験活動プログラム集「まなび☆ガイド」作成にむけての情報収集をしています。貴方の所属団体を含めて、いくつかの文芸団体からはすでに掲載希望の返答をいただいているところです。

今後は、集約した団体情報を学校へ提供いたしますので、児童生徒の学習への協力依頼があった際には、歴史ある俳句の素晴らしさを伝えるためにお力添えをお願いいたします。

今後とも、士別をより「住みよく」「安心」できるまちにするためのご意見やご提言をお寄せください。

貴方のご健勝を心から祈念申し上げ、「市長への手紙」の回答といたします。

敬 具

・担当課

教育委員会生涯学習部社会教育課

士別市東5条3丁目 電話26-7308（直通）

・広聴担当課

市民自治部自治環境課

士別市東6条4丁目 電話26-7736（直通）